

令和3年度 教職員・運転手紹介

1. 今年度の抱負
2. 最近感動した出来事（書籍・絵本・映画等）

園長 栗原 和子

1. 令和3年4月10日「第57回入園式」で、新入児のお子さんとそのご父母の皆さまにお会いできて大変嬉しく思います。二杉幼稚園は、國學院大學の建学の精神に則り設立された幼稚園です。「たくましく 直く 明るく さわやかに」このことを全職員で共通理解し、心一つにしてご父母の皆様と手を携え、これからの時代を担っていく立派な日本人として、世界にはばたけるようにと、日々の保育に専念してまいります。
2. 『センス、オブ、ワンダー』 著者 レイチェルカーソン 訳 上遠 恵子 新潮社
毎年新学期になるとこの本を必ず手にとるように心がけています。

レイチェルカーソンは、子ども達にとり「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではないと固く信じていると、述べています。

美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目を見はる感性を育むために子どもと一緒に自然を探求し、発見の喜びに胸をときめかせることが子ども達への一番大切な贈り物になると信じたいです。（レイチェルカーソンより）

「**感じる心を忘れずに**」が私の信条です。日々の生活の中で、ある時はお子さんと共に、又職場の仲間と**感性を磨いて**いきたいと思えます。



主任教諭 稲葉 幸子

1. 健康に十分に気を付けこと。それには、規則正しい生活を送ること。
そして、食事も好き嫌いせず、運動をする。
2. 『感動した出来事』

福島在住のエアレースパイロットの室屋義秀さんは3/22に栃木県内上空に、飛行機の白色スモークで空に笑顔マークを描く「空を見上げることでリフレッシュでき、少しでも気持ちが明るくなってもらえたら」と。その通りになりました。

主任教諭 中山 年江

1. ひとりひとりのお子さんの育ちを見守りながら《笑顔・挨拶・ありがとうの気持ちを忘れず》一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。そして、常に「初心忘れるべからず」をモットーに、頑張ります。
2. 『感動した出来事』

新学期がスタートし、バスでお迎えに行くと、緊張と不安で涙がこぼれるのを我慢している新入児の様子がありました。しかし、1・2週間が過ぎると、新入児から「先生あのね、今日幼稚園楽しかった。」と笑顔で話しかけてくれたことに感動しました。

教諭 小橋 久美子 (すみれ組)

1. 一人ひとりとの出会いから大きな和が出来るように、努めていきたいと思います。また、健康に気をつけ、笑顔を忘れず一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。宜しくお願い致します。
2. 『感動したこと』

今年の1月にバラの剪定をしました。思いきり短く切ったので、枯れてしまわないか心配をしましたが、新芽がぐんぐん伸び、蕾を付け始めました。生命力の強さを感じました。



教諭 渡邊 花枝 (ゆり組)

1. 年少組の子ども達との新しい出会いを楽しみにしていました。毎日その子らしく健やかに過ごせるよう心にゆとりを持って一人ひとりとい向き合っていきたいと思います。
 2. 『感動した出来事』
- 今年もコロナ禍の中、無事入園式が行われました。大きめの園服を着て、緊張した表情のお子さん達が自分の名前を呼ばれた時、その子なりの表現で返事をしてくれた姿に、大きな感動を受けました。みーんな、かわいかったです



教諭 宮田 貴子 (ほし組)

1. 今年は年長組。3年間この学年のお子さんとかかわれることに喜びを感じています。子ども達が色々なことに興味を持って主体的に行動できるよう、まず私が積極的に様々なものにチャレンジしていきたいと思います。
 2. 『感動したこと』
- 年長になって「先生見て！とべるようになったよ！」と縄跳びするM子ちゃん。

年中の時は、とべなかったが、春休みにお母さんと一緒にたくさん練習したのだろう。「やったねM子ちゃん！」感動で胸がいっぱいになった。

教諭 手呂内 幸代 (さくら組)

1. 今年も笑顔で頑張ります。また、人を思いやる気持ちも忘れずにしたいと思います。
2. 『感動したこと』

世界フィギュアスケート国別対抗戦「We are the world」「花は咲く」の演技に心打たれました。



教諭 寺内 美佳 (たんぼぼ② つくし つぼみ)

1. お子さんたちの笑顔は最高です。自分自身も笑顔で過ごしていきたいです。
2. 『感動した出来事』

0, 1才の新入のお子さん、1つ学年が大きくなったお子さんたちの一日一日の成長に毎日立ち会えることです。新学期開始からの約1ヶ月でも毎日たくさんの「できた」「うれしい」の場面がいっぱいです(^ ^♪)

教諭 氏田 志保 (もも組)

1. 今年度も年少組(^ ^♪)。新しいお友だちも加わり、わくわく・ドキドキしています。一人ひとりのお子さんが楽しい園生活を送ることができるよう、新しい発見や喜びと一緒に感じていきたいです。
2. 『感動したこと』

コロナウイルスでまだまだ落ち着かない毎日が続きますが、今年も3月から4月にかけて幼稚園の園庭に色とりどりの可愛いチューリップが咲き、藤棚には、素敵な藤の花が咲き、元気に泳いでいるこいのぼりを見て心が「ほっと」和みました。「春だな(^ ^♪)」と小さな幸せを感じました。



教諭 鈴木 由花 (たんぼぼ①)

1. 2年目になり、今年度もたんぼぼ①の子ども達と一緒に成長していきたいと思います。今年度は、男の子だけのクラスで昨年度とは、雰囲気も変わってどんなクラスになるか楽しみです。
2. 『感動した出来事』

新年度、たんぼぼの子ども達と遊んでいると、昨日、たんぼぼだった子ども達がおもちゃを貸してくれたり、一緒に遊んだり、すごくお兄さん、お姉さんになったなと感じたことです。

教諭 稲葉 成美 (たんぽぽ②・つくし・つぼみ)

1. とにかく、見(観・視・診・看)て、そして真似して学ぶことです♪
これからもよろしくお願いします。

2. 『感動した映画』

「えんとつ町のプペル」の映画です。

東京タワーの展示会で絵本と出会い、まさかの映画化！絵も内容もステキで、最後にポロッと泣ける作品です。

講師 森田 信子

1. 一瞬一瞬の時の積み重ねが、私の人生、時間を大切にします

2. 『感動した本』

なかなか収束のみえてこない、コロナ禍での生活。そこで、夫から渡された1冊の本「読んでみたら」と。

【本当はこわくない。新型コロナウイルス】 井上正康、方丈社 今読んでいます。
読むうちに・・・やっぱり免疫力が重要であることを通感させられています。

講師 沼尾 恭子

1. 健康に気を付けて、暮らすように心掛けたいと思います。

2. 『感動した出来事』

世界！ニッポンに行きたい人応援団というテレビ番組で日本人以上に日本の事を深く学んで実際に体験したい人を招待するのですが、いつも彼らの日本愛に感動をもらいます。



講師 柴田 裕美

1. 健康第一。

2. 『感動した本』

【10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉】

日頃思っている事の、自らの気持ちの解決策になったり、この本をきっかけに沢山の気付きや何かを感じ取れる一冊です。



講師 影山 直恵

1. 体調管理をしっかりする！ストレッチを毎日続ける！

とにかく笑って過ごせるように嫌なことも良い事に捉えるようにしていきたいです。

2. 『感動した出来事』

長男が中学生になり、朝の読書の為の本を持参するのですが、読書があまり好きで



はなかつた長男が本の内容を教えてくれたり、私のオススメの本を読んで本の感想を言い合えることが嬉しい毎日です。

講師 赤羽根 真弓



1. “笑いある毎日！”をモットーに過ごしていきたいです。
2. 『感動した出来事』

カブト虫の幼虫を頂く機会があり、虫好きの我が家の子ども達は大喜び！土替えの際には、毎日成長している幼虫を見て、触れて、感動と喜びの連続です。自粛生活の中「はやく大きくならないかな〜！」と我が家の楽しみになっています。

講師 鈴木 美歩

1. 保育部のお子さんが、毎日笑顔で楽しい園生活を送れるよう、温かく大きな心で寄り添っていききたいです。
2. 『感動した出来事』

長女の卒業式・三女の卒園式。コロナ禍の中でいつも通りではありませんでしたが、色々工夫して挙げて頂いたことに感謝……とても感動的な式でした。子ども達の成長はあっという間ですね。

講師 鈴木 宏子

1. マスク生活で表情の分かりにくい日々ですが、子ども達に気持ちがきちんと伝わるよう、自分の発する言葉に優しさを込めていきたいと思えます。
2. 『感動した出来事』

世界一周ヨットレースでアジア人初の完走を果たした白石康次郎さん。大きなトラブルに見舞われても、最後まで諦めずに、長年の夢を叶えた姿に感動しました。



講師 嶋田 里香

1. お子さん達がお家の方がお迎えに来る間不安にならないよう、笑顔で安心して「今日も1日楽しかった〜！」って親元へ帰れるようにしていきたいです。
2. 『感動した出来事』

2020年コロナと言う感染症に考慮した時代が始まりました。我家息子は、高校進学を控えた受験生。緊急事態宣言が出され、突然の学校長期休校、色々な不安がつりました。そんな中、3月の受験。そして合格発表、高校の校舎にて息子の受験番号を見つけた時は今までの不安が飛び、感動で涙をこぼしました。

講師 戸沢 ちひろ

1. 3人の娘もそれぞれ入学、進級、今年から小学生が2人となりました。体調管理をしっかり！！健康第一に楽しい時間を過ごしたいです。
2. 『感動した出来事』

先日、次女が二杉幼稚園を卒園し、小学校一年生となりました。園長先生から堂々と証書を頂く姿に胸がいっぱいになり、4月からはランドセルを背負って長女と並んで学校へ通います。小学校生活を目一杯楽しんで、心豊かに逞しく成長してもらいたいです。

講師 金沢 菜穂子

1. 「生活に余裕をもつ」時間や心に余裕をもって生活することを、心掛けようと思います。
2. 『感動した番組』、

ドラマ「にじいろカルテ」個性あふれる登場人物がそれぞれを理解し、受け入れて日々過ごす姿に共感しました。また、舞台が山奥という設定で、人々のあたたかさを感じ、見終わった時に、優しい気持ちになるドラマでした。

講師 坂本 久代

1. 元気に明るく過ごせるように、疲れを溜めず、しっかり睡眠、休息を取る。健康に過ごす。
2. 『感動した絵本』、

私は、長女が年少組の時に幼稚園から初めて持ち帰ってきた「こぶたのプーちゃん」という絵本が大好きで、今でも大切にしています。今年、年少組のお部屋で、この絵本の続編である「へっちゃらプーちゃん」という絵本に出会えたことが、とても嬉しかった出来事です。

講師 宇賀神 朋美

1. 笑顔を忘れず！！子ども達一人ひとりの個性を大切に、気持ちを共有しながら笑顔で、仕事をしていきたいです。
2. 『感動した出来事』、

4月に長女が小学1年生になりました。まだまだ小さいと思っていたけれど、重いランドセルを背負って40分という長い道のりを歩いていく娘の後ろ姿が、とても嬉しく子どもの成長に感動しました。

講師 市川 瑠美

1. 体調に気を付け、心のゆとりをもち、毎日笑顔で過ごしたいです。
2. 『感動した出来事』、

入園したばかりの新入園児さん達が、不安でいっぱいの中でも少しずつ慣れ、笑顔を見せてくれる事です。その笑顔がとても可愛くて、とても嬉しくなります。

